

日刊 動労千葉

85. 1. 16
No.1839

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二二七二〇七

60歳実力阻止へ

85年動労千葉戦闘宣言

1月12日「85年動労千葉団結旗開き」が全支部からの組合員、家族会、内外の闘う仲間、来賓四一〇名の結集で盛大に開かれました。「三里塚・国鉄」決戦の真ただ中で開かれた本年旗開きは、85年決戦の出陣式にふさわしく、「闘春」と大書された大タコが演壇に掲げられ、戦闘的なふんい気にあふれるなかで定刻の13時には会場の千葉県労働者福祉センターは全参加者の闘いの熱気でうめつくされました。

第一部 中野委員長が 基調講演

第一部は、桜沢特執の司会のもと、主催者を代表して水野副委員長の開会のあいさつで始まりまし

支部長、蘇我・孤田書記長が全支部を代表し、85年決戦への決意を明らかにしました。その後、社会党、三里塚芝山連合空港反対同盟、関西実業委員会、東京実行委員会、動労千葉顧問弁護団、OB会より連帯のあいさつを受け、第二部に移りました。

85年決戦の決意を打ち固める

第二部は、銚子支部の秋葉さんの名司会のもと、まづ委員長による恒例の鏡開きと乾杯ではじまりました。檄電、メッセージの紹介、県労連、全通空港支部から連帯のあいさつをうけたあと、アトラクションの各支部対抗新春歌合戦に入りました。手拍子、かけ声がかかり盛り上がる中、県労連井原議長、反対同盟宮本衛君、実業OB会会長のとび入りもあり、旗開きは最高潮、互いに樽酒をくみかわし、闘いの決意を語り合い、和気合々と談笑するうちに4時間はあつと言う間に過ぎてしまいました。

最後に山口副委員長の閉会のあいさつが行われ、全員スクラムを組み合い、インターナショナルの大合唱、布施書記長の音頭による団結ガンバローで大成功のうち85年への出陣式を終了しました。何号かにわたって講演・あいさつ等を紹介しします。

続いてただちに、中野委員長が基調講演にはいり、「動労千葉は総力をあげ、85年決戦を闘う。『60・3』闘争を実力闘争を基軸に闘い、同時に3・24三里塚に三度5割動員を実現し、この力で『分割・民営化』、『10万人首切り計画』粉砕を必ず実現しよう」

旗開き報告1



この決意が満場の拍手で確認されました。これを受け各支部長あいさつが行われ、成田・日暮

主催者代表
あいさつ（要旨）
水野副委員長

結果集されたすべてのみなさん、あけましておめでとうございます。

われわれは、すぐる一年間「59・2」ダイ改・動乗勤・首切り三本柱」攻撃粉砕の闘いを闘いぬき、同時に、これらの闘いと結合して「3・25」「10・10」を中心とする三里塚二期阻止の闘いをはじめとする諸闘争を、文字どおり「反動中曾根内閣と対決する労働運動」を体現するものとして、組織の総力をあげて闘いぬいてきました。

85年は、まさに決戦の年でありま。1月10日、国鉄当局は独自の「再建」案をまとめ、7月には、国鉄再建監理委員会の最終答申がだされることになってい。ます。動労「本部」革マルの屈服、鉄労の「分割・民営化」賛成論など国鉄内労組をまきこんで、今年前半から「再建」論議が派手に展開されようとしています。われわれは、10万人首切りと国鉄労働運動解体、一切のツケを国鉄労働者と人民にかぶせるこの論議に埋没することなく「60・3ダイ改」阻止闘争を主力で闘いぬく体制をうち固め、総力で反撃に起ちあがらなければなりません。反動中曾根は、1月元旦からレーガン

のもとに飛び、レーガンの「スターウォーズ計画」に支持を表明しました。1月6日の記者会見では「国鉄」と「教育」を重点的に取り組むことを明らかにするなど、軍事大国化・改憲・労働運動解体の攻撃を一気に強めています。85年は、日本の進路をめぐる階級決戦の年・階級激突の年であります。この決戦を本心に担い切る部隊は、今日結集したみなさん、われわれ自身です。全国の闘う全ての労働者人民と連帯し、三里塚・国鉄を基軸に、反動中曾根打倒へ闘いぬいていこうではありませんか。動労千葉は、その先頭にたちたいと思います。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！